

国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会 優秀賞（国際連合センター賞）受賞おめでとうございます！！

八重山農林高等学校 2年 高西 萌奈メイ さん 「世界の平和と安全を守るために国連がいま果たすべき役割とは何か」

私はフィリピンで生まれ育ちました。父はフィリピン人で、母は日本人です。私は第二次世界大戦について、学校と祖母から聞いた話で学びました。祖母の父は日本兵に殺され彼女は多くの悲しみや恨みを抱えて生きていました。私は歴史を学ぶうえで、自分自身のルーツが過去の戦争で苦しんだ人々と関係していることに悩むことが多々ありました。それと同時に、フィリピンでは私たち家族のもつ日本人というバックグラウンドが原因で、家族が差別に直面した話も聞きました。

これらの経験から、戦争はどちら側にも深い傷を残し、結局のところ、真の勝者はいないということを学びました。

かつて互いに戦争をしていた国に生まれた私は、今日の戦争で苦しんでいる多くの人々に深い悲しみを覚えます。しかし、その事に関らず私たちは協力し合い、平和を創造できるという確証があります。星空の上、地球のはるか400キロメートル上空にある国際宇宙ステーションでは、政治的な違いを持つ世界中の科学者たちが協力して軌道を維持しています。宇宙船の中では、異なる国籍の宇宙飛行士たちが協力し合い、共に生活し働いています。

もし私たちが宇宙でこの協力の精神を維持できるなら、地球上でも同様のことを目指すべきだと考えます。国連も同じように対立する相手とも協力して世界平和を達成するアプローチを採用すべきです。

2024年6月1日と16日には、スイスで平和サミットが開催されました。目的はウクライナにおける公平で持続可能な平和への道を共通理解することでした。しかし、この会議にはロシアが招待されなかったため、いくつかの国が宣言に署名しませんでした。

「信頼できるプロセスにはロシアの参加が不可欠であることを強調することが重要です」とある外相は言いました。

そして、今年の8月9日に長崎県で行われた平和式典にはイスラエルが招待されませんでした。そのため、先進七カ国の代表も式典に出席しませんでした。

なぜ平和を促進するはずのイベントが、逆に国々の間に分裂を生んでしまったのでしょうか？ それは、真の平和は排除によって達成されるものではないからだと考えます。持続可能な平和には、すべての声がテーブルに揃い、建設的な結果を生み出す必要があると思います。

これらの問題は非常に複雑ですが、それを単純化することではなく、みんなで前進するための対話を促すことです。

国連は国際的な外交を育む重要な役割を果たしています。しかし、国連が本当に模範を示すためには、すべての国が排除されることなく、暴力に頼ることなく紛争を解決できるように、対話のプラットフォームを継続的に向上させる必要があると思います。

一部の人は、第2次世界大戦が日本への原子爆弾の投下によって終わったので平和は暴力によって達成できると主張するかもしれませんが、それは同時に核戦争と言う脅威をもたらしました。私たちの世代が本当に世界平和を望むなら、協力と非暴力を受け入れるべきだと思います。これらは単なる理想ではなく、唯一の持続可能な道だと考えています。

最後に、フィリピンを離れる前に、祖母は私を彼女が育った村に連れて行き、決して忘れられない言葉を言いました。「私の父はここで日本兵に殺されたの。私の母も痛い目にあったのよ。でもあなたの母が私の息子と結婚してくれたおかげで、私は起こったことを赦す力を見つけたのよ。そして、彼らが出会ってあなたが産まれたことに深く感謝しているわ。」彼女の言葉に私は深く感動しました。

なぜなら、彼女の赦しと感謝は、私の痛みをも癒やし祖母とのつながりを取り戻したように感じたからです。未来に生きる子供たちには戦争による苦しい体験や辛さや憎しみを背負わせるのではなく、お互いが協力し合う平和な世界を継承できるように願っています。

